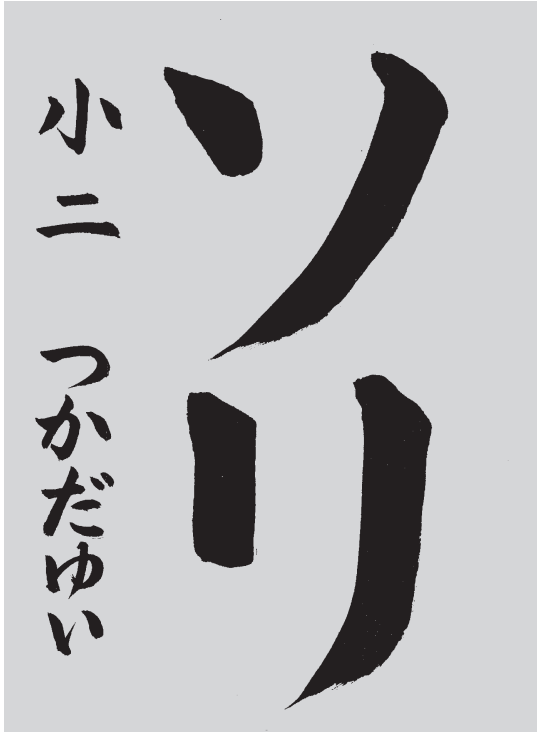


〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

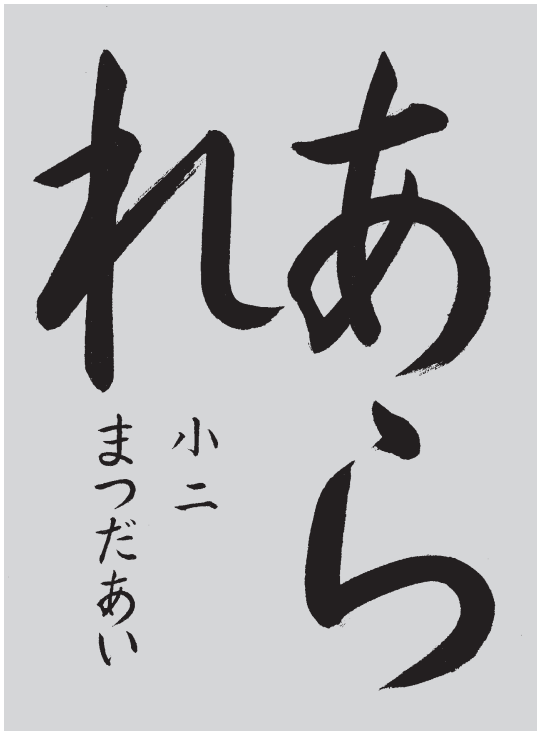


加藤 眺 溪 先生

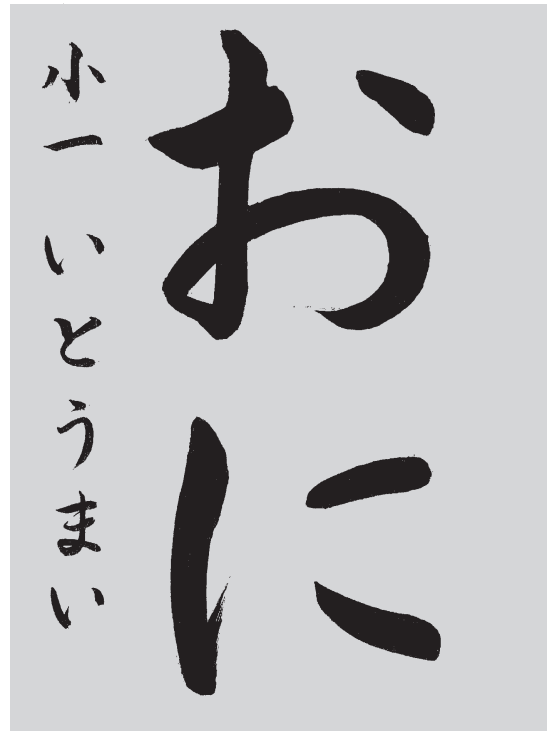
幼・小学1年参考手本



川島 舟 錦 先生



小浜 大明 先生



島田 白露 先生

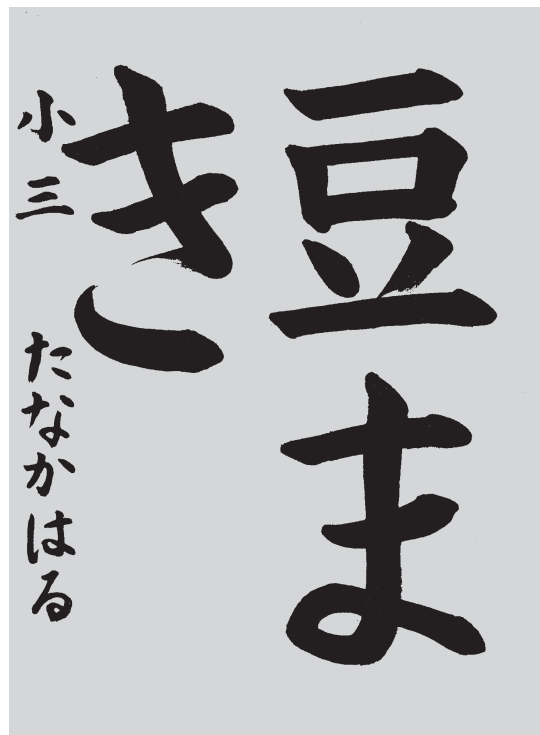
〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

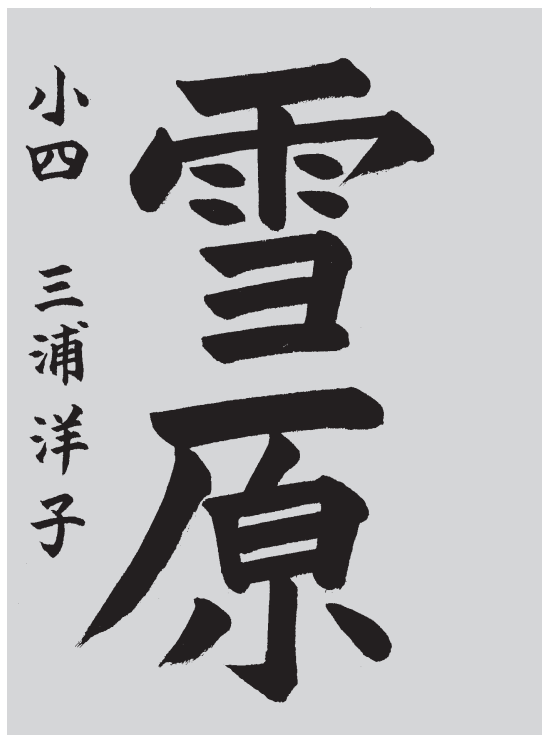


飯高和子先生

小学3年参考手本



千葉蒼玄先生



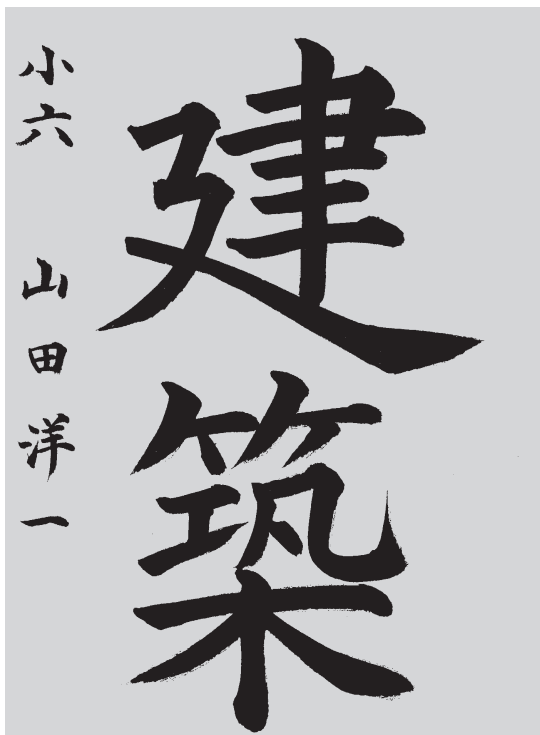
佐藤菜扇先生



名越蒼竹先生

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



山口仙草先生

小学5年参考手本



小伏小扇先生



広瀬舟雲先生



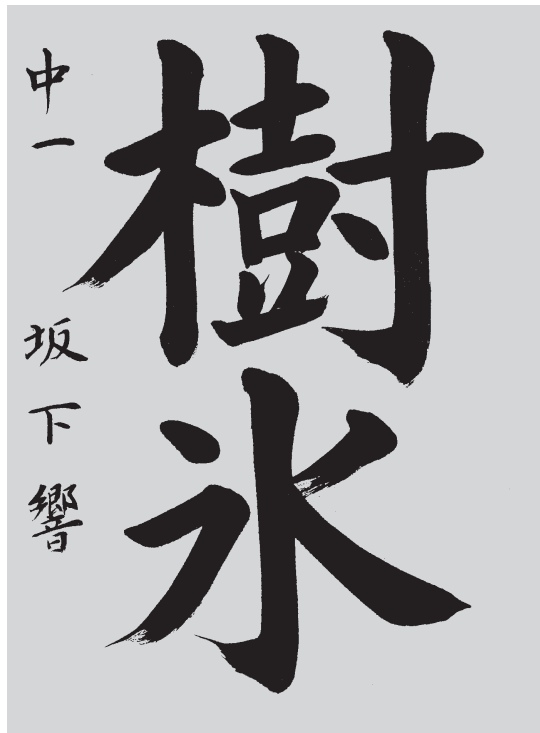
大野祥雲先生

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

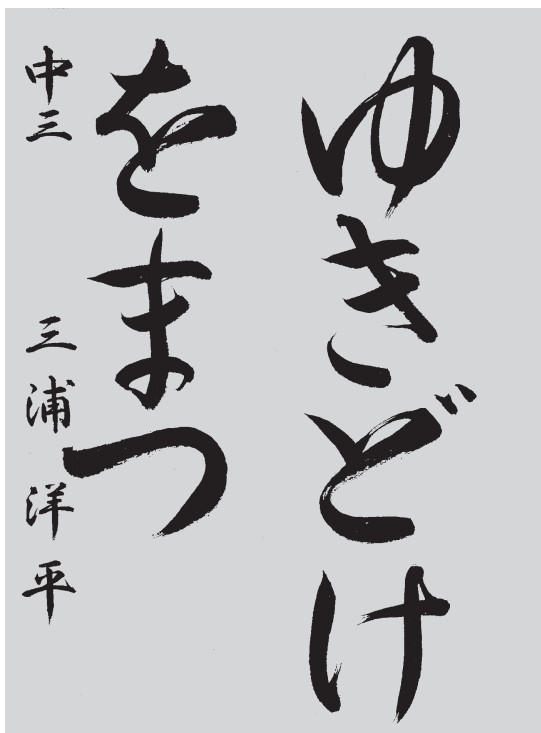
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



辻元大雲先生



坂本素雪先生



小竹石雲先生



小林琴水先生

〔2月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔2月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※2月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、3月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

◎作品に、学年と自分の「氏名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

支 部 名						
	水	を	ま	め	を	ま
だん・きゅう						
	を	や	り	ま	し	た。
がくねん						
	一					
なまえ						
	こ	し	ば	あ	み	か

ちゅうしん 中心
 つづけるままだかく

3 2 1
 や
 とめ

水
 はねる
 たてかくにつけない

「まめ」
 「水」をただかくかきましよう。

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年				
名 前				
	三			
	早坂南			
	さん	交		
	に	番		
	道	で		
	を	、		
	教	お		
	わ	ま		
	っ	わ		
	た	り		

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年				
名 前				
	二			
	西本水紀			
	た	こ		
	め	こ		
	の	は		
	場	、		
	所	本		
	で	を		
	す	読		
	。	む		



左右の「はらい」の方向に
ちゅうい。最後の「右はらい」
でつりあいをとる



左右の「はらい」の方向と
長さでつりあいをとる
「田」は中心でどっしりと



交わる位置にちゅうい

『おまわりさん』
「番」の字形をととのえて書きましよう。



よこ画の中央で浅く接する。



土(つちへん)を小さく
※ななめ分間と画の方向を
そろえて



よこがでる
下がでる

『本を読む』
「場」の字形をただしくととのましよう。
まがり

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	矢野拓		
	つ	気	方
	い	候	言
	た	や	は
	言	生	、
	葉	活	そ
	で	に	の
	す	深	土
	。	く	地
		結	の
		び	

支部名			
段・級			
学年	四		
名前	津山陽人		
	る	土	か
	と	の	え
	地	中	る
	上	に	は
	に	い	、
	出	て	冬
	て	、	の
	き	春	間
	ま	に	は
	す	な	



四画目が一番長い
《筆順》
艹 艹 艹 艹 葉



とめ
シ(さんずい)の形に注意



おれ

『方言』
組み立て方に注意して字形を整えましょう。

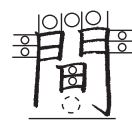


はらう

上に出た部分を長く



中心
五画目の右はらいは、二画目から書く。
※左右のはらいの長さをつりあ
いよく



《筆順》
一 尸 尸 門 門 間

たてと横の分間を整えて

『かえる』
漢字の外形を見て正しく整えて書きましょう。

〔2月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名	え、その恩恵を崇めてきました。 など木林羅万象に神霊が宿ると考 日本人は古くから、岩、木、水
段・級	
学 年	
名 前	
明坂 智也	

支 部 名	先生が放課後に、故 郷の宝物を見せてくだ さいました。
段・級	
学 年	
名 前	
岡崎 留奈	

神 霊

木 林 羅 万 象

〈簡単な行書〉

中心
木 林 羅 万 象 に 神 霊 が

「神霊」
漢字を整えて字配りよく書きましょう。
(漢字は平仮名より少し大きく書く)

物

ななめ分間とはらいの方向に注意
〈筆順〉
ノ、ㇿ、牛、物、物

郷

ほぼ三分分
〈筆順〉
く、夕、彡、艹、郷、郷

放

〈筆順〉
ㇿ、ウ、カ、カ、放

「宝物」
筆順にしたがって正しく整えて書きましょう。

筆順を学ぼう ㊦

〔2月10日締切課題〕

中学生(行書)

5 年		4 年	
節	寒	原	春
ふせせ しちツ	さかん むい	はげん ら	はる しゅん
々 々々 竹 節 節 節	宀 宀 宀 寒 寒 寒	一 厂 厶 厶 原 原	一 一 三 夫 夫 春
中 学		6 年	
窓	樹	築	建
まどう	ジュ	きずく く	たたく コン ン つて る
宀 宀 空 窓 窓	木 杜 桔 楂 樹	々 々々 筑 筑 築	フ フ フ 三 聿 建 建

支部名	日本人は古くから、岩、木、水など 森林羅万象に神霊が宿ると考え、 その思恵を崇めてきました。
段・級	
学 年	
中三	
名 前	
田中一太	

中学生の硬筆、十回目の
行書手本です。
 新年度より二か月に一回
行書を掲載します。中学
生は、楷書・行書の両方
に挑戦してください。

行書を学ぼう

(222)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

雪

雪

解

解

け

景

景

色

色

車

車

窓

窓

ひらがなの字源

(222)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
つ	川 つ
ま	末 ま
を	遠 を
け	計 け
ど	止 ど
き	幾 き
ゆ	由 ゆ

※源字については、異字体から変遷したもの。*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

平成

年

月

日

◇ 登録用紙 ◇

団体番号	支部名	先生名
------	-----	-----

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月20日までに登録された方は次月から出品可能です。

※登録申請時の学年を明記ください。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に行います。



氏名	ふりがな	学年			備考
		幼	小	中	

◇ 部数変更届 ◇

現在	月号から	増減	合計
冊			冊
事務局使用欄			

編集余録

○冬休みからお正月は全国各地で書き初めの季節です。書き初めは四条天皇（1240年）の頃から始められたものと考えられています。約800年も昔のことです。新年1月2日の若水を汲んで、お正月の喜びに浸り、静かに墨をすって、お祝いの言葉、教訓を書き、神棚に供えて、新しい気持ちで神に対して一年の願望を示し、崇高な心をもって心の洗練の場として、日本の長い伝統を持ち続けてきたものです。地方によっては小正月（1月15日）に書いたものを燃やし、炎と共に天高く舞い上がる様子を見て、書の上達、心の躍進を祈願したと伝えられています。書友の皆さんもお正月、じっくり新しい一年を思い描きながら書き初めに浸るのも、とても良い事でしょう。

○毎年この季節、近隣小学校からの依頼で書き初め講習会に伺います。一つ一つの講習会で書く事が好きになり書道に関心を持ってもらえたら嬉しく思います。小学生からの底辺の拡大は私達の大切な役割と感じています。（鄭街）

漢字に親しもう

71

二月号の毛筆課題「おに」(幼・小一)、「豆まき」(小三)、「立春」(小四)、「節分」(小五)から「節分」の意味と由来について学んでみましょう。

節分とは何？

と、聞かれると、「豆まき」をすることを話すと
思います。



節分とは？

節分とは、2月3日です。

節分という言葉は、「季節を分ける」という意味
が含まれています。

言い換えれば、「季節の変わり目」という意味に
なります。

ですから、本当は春、夏、秋、冬のどの季節にも
節分はあるのです。

では、どうして2月3日なのでしょう？

また、どうして節分は、年に一度しかやってこ
ないのでしょうか？

どうして2月3日なのか？

節分は、季節の変わり目毎にあるのですが、
季節の分かれ目は、立春、立夏、立秋、立冬の
事です。

その前日が、節分と呼ばれているのですが、

季節は、「春夏秋冬」と書くように、一年の始ま
りは「春」になります。

その春の始まりが、立春です。

立春の前日、2月3日が節分として、メジャーに
なったのです。

一年の最初、お正月に送る年賀状にも、「新春」
とか「迎春」と書きますよね。

一年のうち、もっとも大事なのが「春」だとい
うことは分かったと思います。

その「春」が始まる前日、新しい一年が始める前
日に、

「これから始まる、新しい一年が、不幸や災いが
無い一年になりますように」

との願いを込めて、一年に一度、節分をこの時期
に行うのです。

今でも、大晦日には「大掃除」をしますよね。

大掃除も旧年中の埃や汚れ、言い方を変えると
邪気など悪いものをなくし、綺麗な体で、新しい
年を迎えるという意味もあるのです。

掃除とやり方は違いますが、豆まきもそれと同じ
意味でしょう。

節分はなぜ、豆まきなのか？

節分といえば、豆まきです。

「鬼は外、福は内」と言って、豆まきをしますね。
なぜ、節分に豆まきをするのでしょうか？

昔、京都に鬼が出て、みんなを困らせていました。

その時に、神様からのお告げで、
豆を鬼の目に投げて、退治したという話がありま
す。

「鬼＝魔」

「魔を滅つする」という言葉から、

その年が無病息災で過ごせるようにと、豆を撒く
ようになりました。

豆についての、豆知識を一つ。

豆は「煎った大豆」でなければなりません。
これは、なぜかという生の豆は、そこから芽が
出てきます。

「魔」から目が出てくるということで、大麥、縁
起が悪いとされています。

「昔のカレンダーでは、今日(2月3日)が大晦
日だったんだよ。」

「大晦日だから、新しい一年が、
楽しく過ごせるように豆を撒い
て、鬼を家の中に入れないう
にしようね。」

